

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 秩父鉄道株式会社

コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒船 重敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 赤岩 一男

TEL 048-523-3311

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,785	△2.4	100	226.9	75	274.1	63	570.3
22年3月期第2四半期	2,855	△11.7	30	△75.9	20	△83.5	9	△89.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	4.27	—
22年3月期第2四半期	0.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	22,748		8,031		35.3		538.81
22年3月期	23,458		8,034		34.2		538.99

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,020百万円 22年3月期 8,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,660	1.4	140	79.5	100	88.7	100	0.0	6.72

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 15,000,000株 22年3月期 15,000,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 115,133株 22年3月期 114,336株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 14,885,450株 22年3月期2Q 14,889,460株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「i. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(参考) 鉄道事業輸送人員と輸送収入及び貨物トン数と貨物収入	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）におけるわが国経済は、経済対策の効果等により一部に景気の持ち直しの動きが見られるものの、依然として高い失業率や賃金の抑制、個人消費の低迷等により、厳しい事業環境が続きました。

このような状況のもとで、当社グループは輸送の安全確保を最優先に、一層のサービスの充実を図るとともに、鉄道事業、観光事業を中心に積極的な営業活動を推進し、経費の節減並びに経営全般の効率化の取組みを続け、収益と利益の確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,785百万円、前年同期に比べて2.4%減少いたしました。営業利益は100百万円、経常利益は75百万円、四半期純利益は63百万円となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

#### [鉄道事業]

旅客部門におきましては、花めぐりや体験型のスタンプラリーの開催をはじめ、サイクルトレインの定期運行、SLファンに人気の門鉄デフの装備や特別イベント「銀河鉄道999 in 秩父」を開催など沿線市町や観光施設と連携した営業活動を実施いたしました。

しかしながら、個人消費の低迷や今年の猛暑の影響により旅客収入が減少いたしました。

貨物部門は、公共工事および民間の設備投資の落ち込みによる国内のセメント需要の低迷により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果営業収益は1,628百万円、営業損失は80百万円となりました。

#### [不動産事業]

不動産事業におきましては、小前田駅北西部区画整理地内の土地分譲は、積極的な営業活動を行いましたが、契約が伸び悩み低調に推移いたしました。一方テナント等賃料は、景気低迷の影響を受け相場は下落傾向にあり、賃貸収入が低迷しました。営業収益は267百万円、営業利益は139百万円となりました。

#### [観光事業]

観光事業におきましては、「観光地ながとろ」をアピールしたキャンペーンを開催し長瀬駅周辺の観光施設とコラボレーションし観光客の誘致と増収施策に努めました。しかし、今年の猛暑の影響で観光客の出足も伸び悩み、営業収益は194百万円、営業利益は33百万円となりました。

#### [バス事業]

バス事業におきましては、個人消費低迷の影響により営業収益は伸び悩み254百万円となり、営業利益は22百万円となりました。

#### [その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は641百万円、営業損失17百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態について、総資産は現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ710百万円減少し、22,748百万円となりました。

負債は支払手形及び買掛金、長期借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ707百万円減少し、14,717百万円となりました。

純資産は利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金減少等により、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、8,031百万円となり自己資本比率は35.3%となりました。

#### [キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は755百万円となり、前第2四半期連結会計期間に比べ52百万円増加いたしました。

なお、当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は149百万円となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益74百万円、減価償却費188百万円及び売上債権の減少額132百万円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は135百万円となりました。主な要因は固定資産取得による支出311百万円、工事負担金等受入による収入162百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は102百万円となりました。主な要因は短期借入金純減少額30百万円、長期借入金の返済による支出572百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期業績予想については、平成22年5月14日公表の数値と変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

一部の連結子会社については、固定資産の年間償却予定額を期間按分して算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成20年9月26日）を適用し、従来、主として最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）によっていた商品の評価方法を、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③四半期連結貸借対照表の表示方法の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用したことに伴い、前第2四半期連結累計期間において固定負債に計上していた「固定資産撤去損失引当金」は、流動負債の「その他」に含めて計上しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の流動負債の「その他」に含まれている「固定資産撤去損失引当金」は9,243千円であります。

④四半期連結損益計算書の表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	759,105	847,344
受取手形及び売掛金	255,600	388,337
分譲土地建物	417,065	437,580
商品及び製品	35,308	54,945
原材料及び貯蔵品	44,627	48,346
その他	12,479	192,420
貸倒引当金	△1,926	△2,042
流動資産合計	1,522,259	1,966,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,002,433	13,024,212
減価償却累計額	△8,418,060	△8,331,975
建物及び構築物（純額）	4,584,372	4,692,237
機械装置及び運搬具	5,337,209	5,347,797
減価償却累計額	△4,755,112	△4,693,798
機械装置及び運搬具（純額）	582,096	653,998
土地	15,596,531	15,603,328
その他	637,627	643,797
減価償却累計額	△559,529	△572,342
その他（純額）	78,098	71,454
有形固定資産合計	20,841,098	21,021,018
無形固定資産	26,823	29,080
投資その他の資産		
投資有価証券	306,815	389,914
繰延税金資産	1,632	1,734
その他	82,817	83,757
貸倒引当金	△33,166	△33,983
投資その他の資産合計	358,098	441,422
固定資産合計	21,226,020	21,491,521
資産合計	22,748,280	23,458,454

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成22年9月30日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成22年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,254	363,691
短期借入金	1,164,980	1,195,330
1年内返済予定の長期借入金	1,105,338	1,063,583
未払法人税等	17,290	10,520
未払消費税等	54,148	10,458
繰延税金負債	316	463
賞与引当金	208,957	202,653
その他	603,424	946,053
流動負債合計	3,329,709	3,792,753
固定負債		
長期借入金	3,009,882	3,123,828
繰延税金負債	76,878	108,877
再評価に係る繰延税金負債	6,080,124	6,088,501
退職給付引当金	1,704,821	1,753,196
特別修繕引当金	74,750	69,000
固定資産撤去損失引当金	—	9,700
長期預り金	440,848	478,281
固定負債合計	11,387,305	11,631,383
負債合計	14,717,015	15,424,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	22,077	22,077
利益剰余金	△1,378,658	△1,434,448
自己株式	△25,613	△25,483
株主資本合計	△632,194	△687,854
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	112,264	166,411
土地再評価差額金	8,540,084	8,544,602
評価・換算差額等合計	8,652,349	8,711,013
少数株主持分	11,109	11,156
純資産合計	8,031,264	8,034,316
負債純資産合計	22,748,280	23,458,454

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業収益	2,855,150	2,785,620
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,093,657	1,980,330
販売費及び一般管理費	730,701	704,606
営業費合計	2,824,358	2,684,936
営業利益	30,792	100,683
営業外収益		
受取利息	293	195
受取配当金	684	642
不動産賃貸料	7,902	2,445
物品売却益	5,243	2,553
助成金収入	—	5,802
その他	27,504	16,489
営業外収益合計	41,628	28,128
営業外費用		
支払利息	48,492	48,513
その他	3,667	4,492
営業外費用合計	52,160	53,005
経常利益	20,260	75,806
特別利益		
固定資産売却益	—	1,155
補助金受入額	—	2,300
関係会社清算益	7,760	—
特別利益合計	7,760	3,455
特別損失		
固定資産圧縮損	—	2,150
固定資産売却損	3	2,572
固定資産除却及び撤去費	44	88
特別損失合計	48	4,810
税金等調整前四半期純利益	27,972	74,452
法人税、住民税及び事業税	17,438	10,914
法人税等調整額	△207	△44
法人税等合計	17,230	10,870
少数株主損益調整前四半期純利益	—	63,581
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,252	△32
四半期純利益	9,489	63,614



(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
営業収益	1,420,775	1,397,387
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	1,061,080	1,010,167
販売費及び一般管理費	367,069	342,982
営業費合計	1,428,149	1,353,150
営業利益又は営業損失(△)	△7,374	44,236
営業外収益		
受取利息	240	177
受取配当金	0	0
不動産賃貸料	1,266	1,371
物品売却益	5,199	2,071
助成金収入	—	3,711
その他	19,643	3,954
営業外収益合計	26,351	11,287
営業外費用		
支払利息	24,703	24,284
その他	1,889	1,865
営業外費用合計	26,593	26,149
経常利益又は経常損失(△)	△7,616	29,375
特別利益		
固定資産売却益	—	1,155
補助金受入額	—	2,050
特別利益合計	—	3,205
特別損失		
固定資産圧縮損	—	1,900
固定資産売却損	—	2,532
固定資産除却及び撤去費	36	88
特別損失合計	36	4,520
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,652	28,060
法人税、住民税及び事業税	15,120	6,823
法人税等調整額	△33	17
法人税等合計	15,087	6,840
少数株主損益調整前四半期純利益	—	21,220
少数株主損失(△)	△11	△34
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,728	21,254

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	27,972	74,452
減価償却費	198,968	188,681
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△169,620	△48,374
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,295	6,303
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,943	△933
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	5,750	5,750
固定資産撤去損失引当金の増減額 (△は減少)	△285,550	—
受取利息及び受取配当金	△977	△838
支払利息	48,492	48,513
関係会社清算損益 (△は益)	△7,760	—
固定資産除売却損益 (△は益)	48	1,504
固定資産圧縮損	—	2,150
工事負担金等受入額	—	△2,300
売上債権の増減額 (△は増加)	64,214	132,530
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,251	23,153
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	22,121	20,014
仕入債務の増減額 (△は減少)	153,249	△188,436
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,096	△30,651
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△16,850	9,809
長期預り金の増減額 (△は減少)	△38,549	△37,432
その他	5,721	△1,990
小計	△11,763	201,906
利息及び配当金の受取額	977	838
利息の支払額	△48,833	△48,749
索道事業資産撤去費用の支払額	△163,464	△457
法人税等の支払額	△11,171	△3,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	△234,255	149,812
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△328,448	△311,480
固定資産の売却による収入	72	12,807
工事負担金等受入による収入	179,008	162,498
その他	13,086	795
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,280	△135,378
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	65,400	△30,350
長期借入れによる収入	660,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△511,728	△572,191
自己株式の増減額 (△は増加)	△448	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー	213,223	△102,671
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△157,312	△88,238
現金及び現金同等物の期首残高	860,961	844,160
現金及び現金同等物の四半期末残高	703,648	755,921

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	運輸業 (千円)	不動産業 (千円)	卸売業 (千円)	レジャー・ サービス業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
営業収益								
(1) 外部顧客に対 する営業収益	2,097,817	245,797	252,916	200,907	57,711	2,855,150	—	2,855,150
(2) セグメント間 の内部収益又は振 替高	5,153	3,672	128,778	2,355	169,333	309,294	(309,294)	—
計	2,102,971	249,469	381,695	203,263	227,045	3,164,444	(309,294)	2,855,150
営業利益又は営業損 失(△)	△145,374	128,543	2,559	42,982	△12,090	16,620	14,172	30,792

(注) 1. 事業区分の方法

日本標準産業分類をベースに経営多角化の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

運輸業…鉄道、バス、索道、タクシーの営業を行っております。

不動産業…建物の賃貸、土地及び建物の販売等を行っております。

卸売業…資材の卸しを中心に商品の販売を行っております。

レジャー・サービス業…遊船、動物園、飲食業等を行っております。

その他事業…建設業、電気工事業、旅行業等を行っております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高はないため該当事項はありません。

[事業の種類別セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、鉄道事業を中心に不動産及び観光事業を営んでおり、その他の事業については各子会社がそれぞれその事業活動を展開しております。

したがって、当社は、各事業を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「鉄道事業」、「不動産事業」、「観光事業」及び「バス事業」の4つを報告セグメントとしております。

「鉄道事業」は、旅客及び貨物輸送の営業を行っております。「不動産事業」は、建物の賃貸、土地及び建物の販売等を行っております。「観光事業」は、遊船、動物園、飲食業等を行っております。「バス事業」は、貸切バス等の営業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への売上 高	1,623,909	263,931	193,319	254,419	2,335,580	450,040	2,785,620	—	2,785,620
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	4,970	3,552	1,579	3	10,105	191,330	201,435	△201,435	—
計	1,628,879	267,483	194,899	254,423	2,345,685	641,370	2,987,056	△201,435	2,785,620
セグメント 利益又は損 失(△)	△80,787	139,534	33,308	22,179	114,234	△17,877	96,357	4,326	100,683

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸・小売業、建設・電気工業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4,326千円は、固定資産未実現損益の消去額438千円、セグメント間取引消去3,966千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

(参考) 鉄道事業輸送人員と輸送収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	前年対比
旅 客 人 員	定 期	千 人	2,918	2,939	△ 0.7
	定 期 外	〃	1,431	1,502	△ 4.8
	計	〃	4,349	4,442	△ 2.1
貨 物 ト ン 数		千 ト ン	772	817	△ 5.5
旅 客 収 入	定 期	百 万 円	415	418	△ 0.8
	定 期 外	〃	611	652	△ 6.2
	計	〃	1,026	1,070	△ 4.1
貨 物 収 入		〃	459	491	△ 6.4